

市議会だより

大月市

平成 29 年 5 月 31 日発行 No.146

特集 地区社協×市議会



CONTENTS

- ・特集
(地域の課題を考える) P. 2～3
- ・平成 29 年第 1 回市議会定例会
(主な議案の内容) P. 4～5
- ・予算審査特別委員会 P. 6～7
- ・議決結果一覧表 P. 8～9
- ・代表質問・一般質問 P.10～16
- ・議員政治倫理審査会報告 P.17
- ・視察研修報告等 P.18～19

地区社協 × 大月市議会

10 地区社会福祉協議会と地域課題について懇談しました。地区社協とは初めての懇談会となり、地域課題や住民主体の「地域づくり」について活発な意見交換となりました。



社会文教常任委員会

沢井地区では電気柵を設置しているが、それでも荒らされるので作る気がなくなる。男性にとって畑はコミュニケーションの場なので、それが無くなると地域福祉の観点からも大変になる。

捕獲・駆除の年間頭数は、サル20、シカ100、イノシシ95、出没や被害が増えているので、県と市で折半している捕獲補助金を増額することにしている。執行部にも伝え、しっかり対応していきたい。

・買い物、病院等への足の確保が課題になっています。お助け隊でも協議しています。

市議会でも議論している課題です。公共交通とともに住民同士の助け合いも大切な観点なので、引き続き知恵を出し合ってください。

・住民同士の乗り合わせを進めた場合に、もし交通事故にあったらどうするのかという声があります。市が仲介するような保険を作れないでしょうか。

・賑岡では、月に一度、ゆっくり買い物をして、昼食をするツアーをしています。保険に加入し社協の車を借りて出かけています。

住民主体の「地域づくり」の取り組みに敬意を表します

【市議会】

10地区単位で住民福祉懇談会を開催しました

【地区社協】

Q 10地区社協単位で開かれた住民福祉懇談会とは（市議会）

・各地区社会福祉協議会が中心となり、民生委員児童委員、老人ク

ラブ、自治会等が一堂に会し、「誰もが健康で快適に日常生活を過ごせる地域を目指そう！」をテーマに、グループワークを行いました。地域での福祉課題をみんなで把

Q 地域の課題は（市議会）

・小型除雪機を地区で購入しましたが、作業が大変楽になりました。購入していない地区に、このことを知らせたい。

今年も予算をつけているので、ぜひ利用してもらいたい。

・有害鳥獣対策に頭を痛めている。



地区社協

・シルバーお出かけバス（5000円／年）は、都留市にはないですよ。みんなに教えたい。

・仲間づくりも大事な課題です。声かけや「サロン」を試行錯誤して取り組んでいます。

Q 大月市の人口対策と実績は
(地区社協)

大月市では平成27年度から、定住促進のための新築住宅取得や新婚世帯・転入子育て世帯への家賃等に対して助成をしています。「定住促進住宅助成金制度」は、平成28年度は交付件数44件(市外17件、市内27件)、市外からの転入者56人、市内転居者103人、2年の合計で、制度を利用した市外からの転入者は79人、市内転居者は232人となっています。

Q 大月市内循環型経済推進条例
(仮称) 制定についての感想
を聞かせて (市議会)

市議会では、地域で魅力ある消費を生み出す産業、地域資源、技術、雇用、消費をしっかりと結びつけ、市内でお互いに買い支える市内循環型の経済対策に取り組みたく、条例制定を目指しています。一方、大月市域だけの閉ざされた

経済活性化策でなく、東部、県内全域との連帯も視野に入れ「ヒト、カネ、モノが交流」する生産や消費活動を高める取り組みを進めたいと考えています。

・賛同できる内容だと思いますが、土日閉店しては買い物ができないので、商店でも取り組みをお願いしたい。

・地域の業者からすると、大変心強い提案です。ポイント制など民間の取り組みもあるので、期待したいです。

本日は貴重なご意見をありがとうございました。市議会としても、市民から信頼される努力をこれからも進めてまいります。地区社協の皆様の益々のご活躍をご期待申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

大月市議会第1回定例会

こんな事が決まりました

3月1日～24日（24日間）

今定例会の議案

市長提出

- ・ 条例案件……………8件
- ・ 当初予算案件……………9件
- ・ 補正予算案件……………8件
- ・ その他の案件……………3件
- ・ 人事案件……………6件

議会提出

- ・ 請願……………1件
- ・ 意見書案……………1件
- ・ 政治倫理審査会報告……………1件



主な議案の内容

条例

◎大月市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定の件

農業委員の選出方法が公選制から任命制に変わります

農業委員（14人）は市長が議会の同意を得て任命し、新設の農地利用最適化推進委員（13人以内）は農業委員会が委嘱します。

人事

◎大月市副市長の選任について同意を求める件

石井康雄氏（前総務部長）が副市長に選任されました

予算（当初）

◎平成29年度 大月市一般会計当初予算・特別会計8事業予算については、予算審査特別委員会のペーじ（P6～P7）をご覧ください。

その他

◎総務部内へ課を新設

まちづくり創生課を新設します

大月駅北側等の整備を進めるために立地適正化計画の策定と計画の実施に向け、まちづくり創生課を新設します。

◎不動産処分の件

旧下和田小学校跡地は、医療機器製造工場の建設を計画している山陽精工（株）に売却します。

予算（補正）

◎平成28年度 大月市一般会計補正予算（第6号）

○学校管理費
・ 小学校2校の空調設備整備経費を増額
（1億9、169万円）

○企画費
・ 路線バス赤字補てん金の増額
（4、298万円）

○病院費
・ 病院事業会計への繰り出し金の増額
（5億8、920万円）

委員会審査の様子

●総務産業常任委員会

副市長の給料について

Q 副市長の給料はどのくらいか。「大月市長等の給与減額に関する条例」があるので、副市長も20%減額になるのか。

A 月額64万円で、この額から20%減じた額を支給します。

急傾斜地対策事業について

Q 大月駅裏(興和跡地)の一部地域100mほどが工事されていますが、急傾斜地の工事をしなければ建物は建たないのではないかと。

A 国・県による急傾斜地事業は住宅がなければ事業に取り込めません。該当の場所は住居がないため急傾斜地工事がされていませんが、県に対して、そういった要望を事業化してもら

うよう相談している最中です。しかし、今と同じ補助制度で事業化できるかは不明です。

●社会文教常任委員会

中央病院への繰出金の増額について

Q 人件費比率が高すぎるので、改善しなければ良くならない。一つの大学に任せるとこういうことが起きるが、そうであるなら常勤医師をもっと派遣しなければいけない。それが出来なければ女子医大との関係も考えなければならぬが、どう考えるか。

A 先日の病院の企画会議においても、目標数値を提示している。非常勤医師の処遇についても検討はされていて、医師から非常勤医師も事務職も削減しなければ

ばいけないとの意見は出ている。しかし、慢性疾患のため定期的に病院に掛かる予約患者が多く、その医師が来なくなると、別の医師に初診で掛かるといふ悪循環になるといふ側面もある。

Q 各診療科あるいは医師別に収支を出して経営分析すべきだと以前から言っているが、その対応は。

A 毎月院内で科別の入院、外来患者数を周知している。人件費は、院内公表していないが、評価は行っている。今後、院内企画会議にて、診療科別非常勤医師報酬等、検討資料として提供しようと考えている。

平成28年度 大月市一般会計補正予算、病院事業会計への繰出金の増額についての討論

◆反対討論(要旨)

鈴木基方議員

病院への一般会計からの繰出金は、当初予算3億1千538万7千円より大きい補正額、5億8千919万6千円。合わせて9億458万3千円が、126億5438万円の一般会計の総額をどれだけ圧迫するか。実質公債費比率が18%を超え、本市の起債許可団体への転落も必至の状況の中、必要な病院を止めるのではなく、経営健全化を真剣に考えるべきです。10年間の繰り出し金の総額34億1千800万円の行きつくところは、我々市民の税金で、これだけの金額があれば他に色々なことが出来ました。議会に向けて、即ち市民に向けて、新年度の決意書を提出するなど、病院からの詳細な説明があるべきです。これ以外の案件に関しては、私はすべて賛成です。

◆賛成討論(要旨)

相馬保政議員

今回の3月補正において、病院事業会計への補助、繰出金の増額が大きな割合を占め、財政を圧迫していますが、経営状況を改善するため、本年1月に大月市立中央病院運営委員会内に小委員会を設け、専門家や市民代表、コンサルタントを入れ、市立中央病院が果たすべき役割や経営改善及び経営形態の見直しなど踏み込んだ議論を開始し、市長に6月をめどに提言するという説明もありました。この問題は、執行部、議会、市民の皆様が一丸となり、取り組む問題であると思慮するところです。今後も整形外科などの常勤医師の確保に努めるとともに、院内においても院長を中心に経営健全化に取り組んでいたが、早期に市民に信頼される病院となるよう期待しています。

平成29年度当初予算を可決！



委員長
古見 金弥



副委員長
小林 信保

予算の流れと議会の役割

市民の代表として市議会は、市民生活にかかわる予算を審査し決定します。予算編成は各年度の財政計画を立てて市長が行い、市議会によって決定されます。決定された予算に基づいて財政が運用され、執行の結果をまとめ市議会が決算審査を行います。市議会と市長は、独立した立場で相互にけん制し、均衡を保ちながら「住みよい、大月市」の実現を目指しています。

平成29年度予算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

土地開発公社の解散時に公社保有の土地を処分し、負債部門の資金に充てるとしていたが、一向に処分されない。不要の土地及び財産は、正当な価格で売却し、財源の確保に努められた。また、教育委員会所管の閉校になった小中学校、教員住宅用地も普通財産に切替え、有効利用を求める。そして、閉校跡地を含めた学校敷地の民地、賃借料は年間767万円で、10年経過すれば7、600万円と高額になる。財産の処分と賃貸料の削減とともに、公有財産取得処分委員会を定期的に開催し、その機能を十分に発揮していただきたい。

また、「ふるさと納税制度」について、ふるさと納税に対する返礼品がキーになる。平成28年の「ふるさと納税(寄附金)」全国トップの宮崎県都城市は、42億3千万円。山梨県内13市では富士吉田市がトップで7億2千万円あまり、13市の最下位が大月市の650万円で富士吉田市の110分の1で、平成28年に大月市在住の方でふるさと納税をした方が110人、その内11



平成29年度当初予算に対する討論

◆反対討論(要旨)

鈴木基方議員
昨年度より136万3千円減額の2千737万1千円という寂しい林業費。始動間近のバイオマス発電所と地元林業の活性化との間に、大きな隔たりがあることは、森林賦存量調査の結果からも、多くの市民の皆様のご知るところとなりました。

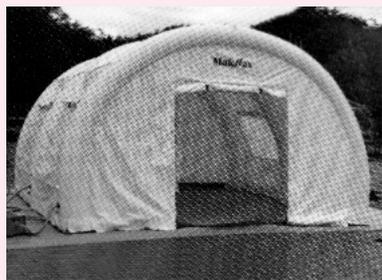
事あるごとに市長は、上流域と言いますが、近隣の、丹波山村・小菅村には東京都、道志村には横浜市の水源林があり、管理も行き届いています。一方、大月はどうか。厳しい財政状況の中、新たな補助金を見つけ、林業費を増額し、林業の活性化を図るべきです。これ以外の案件に関しては、私はすべて賛成です。

◆賛成討論(要旨)

藤本実議員
平成29年度は、大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、本市の重要課題である人口減少、地域活性化に向けて、移住定住、子育て、教育、地域活性化の関連事業を重点とした予算編成であると感じられます。

今後は、総合戦略にある施策等に取り組み、人口減少に歯どめをかけ、地域活性化に対応していくことが求められています。

主な予算の使い道が決まりました



【事業名】 災害対策事業（災害用エアテント整備）

【事業費】 179万3千円

【内容】 災害時に一時避難所や現地災害本部、救護所として活用することを目的として、災害用エアテントを配備します。



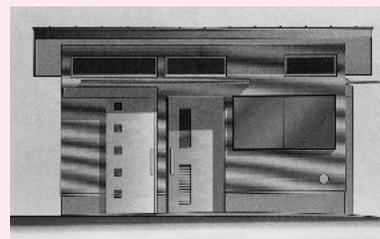
【事業名】 学童クラブ施設建設事業

【事業費】 2826万8千円

【内容】 猿橋小学校学区、学童クラブ「ひまわりⅡ」の施設を建設します。

補助率（国・県） 2/3

平屋建 床面積約 110㎡



【事業名】 観光振興施設整備事業

【事業費】 1163万3千円

【内容】 鳥沢駅利用者や来訪客の利便性を高めるため「富士の国やまなし観光施設整備費補助金」を活用して公衆トイレを建設します。

補助率（国・県） 2/3



【事業名】 LED防犯灯推進事業

【事業費】 1450万円

【内容】 市内の防犯灯をLED化し、二酸化炭素排出削減による地球温暖化の抑制や維持管理費などの経費削減を図ります。地区管理防犯灯1灯あたり1万3千円補助



【事業名】 小中学校一般管理事業（防犯カメラ設置）

【事業費】 41万6千円

【内容】 学校施設における防犯対策を強化し、より安心安全な教育環境を築くため、市内小中学校に防犯カメラを設置します。



【事業名】 定住促進事業

【事業費】 3322万9千円

【内容】 定住促進のための新築住宅取得や新婚世帯・転入子育て世帯への家賃等に対して助成します。



【事業名】 一時預かり保育事業

【事業費】 530万円

【内容】 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を幼稚園・保育園で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。

（幼稚園は、在園児が対象）



【事業名】 病院事業会計補助・繰出金

【事業費】 3億2639万4千円

【内容】 病院事業の経営健全化を促進し、その経営基盤を強化するための病院事業補助金及び繰出金です。



【事業名】 コミュニティ・スクール導入等促進事業

【事業費】 45万3千円

【内容】 学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進します。補助率（国） 1/3

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 ● 除斥 -
※山田 善一 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	西室	小原	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
			剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	衛	丈司	章司	信保	実	力	基方	
条例	第 1 号	大月市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定の件														原案 可決
	第 2 号	大月市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件														
	第 3 号	大月市特定個人情報保護条例中改正の件														
	第 4 号	大月市職員の育児休業等に関する条例及び大月市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 5 号	大月市職員給与条例中改正の件														
	第 6 号	大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件														
	第 7 号	大月市税条例等中改正の件														
	第 8 号	大月市介護保険条例中改正の件														
当初 予算	第 9 号	平成 29 年度 大月市一般会計予算	○	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	原案 可決
	第 10 号	平成 29 年度 大月市大月短期大学特別会計予算														
	第 11 号	平成 29 年度 大月市国民健康保険特別会計予算														
	第 12 号	平成 29 年度 大月市簡易水道特別会計予算														
	第 13 号	平成 29 年度 大月市下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 14 号	平成 29 年度 大月市介護保険特別会計予算														
	第 15 号	平成 29 年度 大月市介護サービス特別会計予算														
	第 16 号	平成 29 年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算														
	第 17 号	平成 29 年度 大月市病院事業会計予算														
補正 予算	第 18 号	平成 28 年度 大月市一般会計補正予算 (第 6 号)	○	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	原案 可決
	第 19 号	平成 28 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 5 号)														
	第 20 号	平成 28 年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)														
	第 21 号	平成 28 年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 22 号	平成 28 年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 23 号	平成 28 年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)														
	第 24 号	平成 28 年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 25 号	平成 28 年度 大月市病院事業会計補正予算 (第 1 号)														

平成29年3月定例会

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	西室	小原	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
			剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	衛	丈司	章司	信保	実	力	基方	
その他	第26号	市営住宅明渡及び滞納家賃等支払請求訴訟に係る和解の件														原案 可決
	第27号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第28号	不動産処分の件														
人事	第29号	大月市副市長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第30号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件														
	第31号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第32号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件														
	第33号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第34号	大月市固定資産評価員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	請願第1号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出を求める請願														継続 審査
	意見書(案)	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書(案)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	原案 否決
	審査会報告	大月市議会議員政治倫理審査会報告	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	—	●	●	原案 否決

代表質問・一般質問



市政を問う

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、6名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 西室 衛 議員 (清風会&公明) 11 ページ

- ①旧下和田小学校跡地への企業進出の経緯は
- ②来年度、設置する「まちづくり創生課」の役割は

(2) 小原文司 議員 (山と川の街大月) 12 ページ

- ①なぜ富中跡地を除外して候補地を選考させたのか
- ②中央病院の5年間の赤字補填の総額は

(3) 藤本 実 議員 (日本共産党) 13 ページ

- ①やまびこ支援学校への認識は
- ②桂台住民の不安への対応は

● 一般質問

(4) 鈴木基方 議員 14 ページ

- ①木質バイオマス発電所のモニタリング調査は
- ②チップ工場の設置に向けた議論を

(5) 小林信保 議員 15 ページ

- ①「見守りステッカー」を導入してはどうか
- ②特定空き家の所有者に対する支援は

(6) 相馬 力 議員 16 ページ

- ①妊婦タクシーサービス事業の申請方法は
- ②桂台地区通学路整備についての対応は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（6月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>）で閲覧することができます。